

毎日の食卓を、
大事に、大切にしたいから。
家族専用「居酒屋」を我が家に作り直しました！
居酒屋メニューはほとんど作れるという主人が
こだわったのは、調理も食事も会話も楽しめる空間
作りとおいに配慮した住まい造り

次世代の住まい
CASE 8
宮城県石巻市
Uさんの家
取材日/2010年2月14日



「神様を大事にする」習慣をお持ちのご夫妻。
立派な神棚を造られました。
いずれ、このお部屋に両親を迎えるご予定なのだからか。
日当たりが良く、日本人なら誰もが落ち着く空間です。



ここがこだわりの「居酒屋風」小上がり。調理しながらでも会話に参加できるので毎日の夕食や友人を招いてのパーティにも大活躍。畳の緑とスピンオフのオレンジ、敷居のブラックが個性溢れる落ち着いた空間に仕上がっています。

羨ましくなるほど仲の良いご夫妻は「自宅を過ごす時間」をとって大事にされています。ご主人は「居酒屋」にあるメニューはほとんど作れるという大のお料理好き。そんなご主人が作りだした一番こだわったのは、「おうちに居酒屋風の空間を作りた」ということでした。友人の紹介でアヴィエスホームを訪れ、千葉店長の人柄ともみの木の良さに一目惚れ。何と、モデルハウス見学から1週間後には契約されたそう。居酒屋風の空間が欲しいというご要望に対し、小上がりとカウンターキッチンの間取りを提案、気になる調理の臭いやタバコの臭いをおさえるためスピンオフともみの木を施工した「暮らせる居酒屋風」が家を完成させました。くつろぎの空間作りのために小上がりの壁面に明り取り用の障子を配置するといったことや、暖かいイメージを出す為塗壁の色をオレンジにしたこと、敷居にアークセントを設けるというのはご主人のアイデア。建築中は毎日現場に訪れたUさんや職人さんを質問攻めにしたそう。自分達で作った我が家という感覚が強いご主人。自慢の「居酒屋風」我が家ができました。

担当より一言

利府店 課長
千葉裕幸

「常」に人が寄る様なそんな家!!
実はご入居後、夕飯を「馳走」にお邪魔させて頂いた時、ご主人が言っておられました。ご主人のお父様が家に来られた時に「宴会場」だなど。それからは皆様が「大勢遊びに来る」と言っていました。そんな家造りの担当にさせて頂いた事は、私の中でも自慢に出来ます。いつお邪魔しても嫌な顔ひとつせず、笑顔で迎えてくれた「案内したいお客様」がいたらいつでも見せるから!!
と「営業マン」としては心強い限りです。これからも空気環境を考えた家を「丁寧」にモットーに接客して参ります。ありがとうございます。

モデルハウスに初めて足を踏み入れたとき、「何でスリッパを置いていないんだ」とびっくり。素足でも木の木に触れたとたん、理由を身体で理解しました。ご主人、造船業というお仕事柄、木について知識を持っていたご主人は、モデルハウスで使用されているもみの木が全て「証目」(まやめ)であることに気が付き、「一瞬で間違いないハウスメーカーだ」と確信、もみの木での家作りを決められました。木材は様々な種類がありますが木を生かしたまま、その特性を活かした建築ができるのは技術的にもコスト的にも難しい時代となってきています。木のことを知って理解してくださるお客様に、アヴィエスホームのもみの木を使って頂ける事に感謝の気持ちでいっぱいになりました。



小上がりから続くリビング。もみの木を床と腰壁に使っています。親戚の集まりがあった時などは、小上がりが大人スペース、リビングが子供スペースと使い分けのそう。



ご夫婦の寝室。奥様が大好きなピンク色の中でも優しい風合いの桜色をスピンオフからチョイス。ベランダから差し込む陽射しで目覚める毎日、ステキですね。



玄関ホール。当社モデルハウスを真似て「スリッパは置けません!」
リビングから小上がりを見てみるとこんな感じ。



カラオケが大好きなご夫妻はリビングにもみの木とスピンオフを施工。音も吸着するスピンオフは防音性能が高いため、深夜のカラオケでも音が漏れにくいのがうれしいですと奥様。居酒屋にカラオケ屋と遊び心満載のおうちですね。



CASE8:宮城県石巻市 Uさんのお宅
家族構成:夫、妻、長女、長男+チワワのココロちゃん
延べ床面積:34坪 部屋:4LDK
こだわり設備:1階全フロアにもみの木+腰壁。



アヴィエスホーム限定「ドイツ製セラミックを使用したラジエントヒーター」。短時間で火が通るので焼き魚はもちろん煮物、揚げ物にもぴったりとご夫妻。
キッチンスペース



階段の踊り場の窓は手が届くよう、通常よりは低めに設置。お部屋に風を通したい時やお掃除の時も楽々です。
奥様のご希望で二階ホールに物干スペースを。天候に左右されずいつでも洗濯ができます。

